

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1171	(H.24)No.	1171
-----------	------	-----------	------

事務事業名		青少年健全育成事業	
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
教育委員会事務局	文化生涯学習室	杉本 一徳	63-7892
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	1	生きる力をはぐくむ教育の充実
	施策	2	青少年健全育成
	小施策	2	健全な環境づくり
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分	事業コード	508501
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 教育費	青少年健全育成事業	
項 社会教育費	(小事業名)	
目 青少年対策費	青少年健全育成事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>安心安全な環境づくり……名張少年サポートふれあい隊事業、有害環境一掃大作戦、あぶない標識設置事業、「子どもを守る家」事業 健全育成体制の充実……青少年ボランティア人材育成事業、なばり子どもセンター事業</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>青少年を取り巻く環境が厳しい中、関係機関との連携と、市民ボランティアの協力により、非行防止、環境浄化活動による安心安全な環境づくりに取り組み、青少年の健全育成に取り組みます。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)		平成24年度 (計画・作成時予算額)		
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		
主な事業の実績・計画	・名張少年サポートふれあい隊事業 年間延べ83回の街頭パトロール ・有害環境一掃大作戦 青少年の環境浄化活動を7月第1土曜日に実施 ・あぶない標識設置事業 標識を製作し年間を通じて危険箇所の点検・標識の設置 ・「子どもを守る家」事業 年間を通じ不審者対策として協力者宅に設置 ・青少年ボランティア人材育成事業 ジュニアリーダーの養成 ・なばり子どもセンター事業 子どもの体験活動情報を年間を通じ提供		・名張少年サポートふれあい隊事業 年間延べ100回の街頭パトロール ・有害環境一掃大作戦 青少年の環境浄化活動を7月第1日曜日に実施 ・あぶない標識設置事業 標識を製作し年間を通じて危険箇所の点検・標識の設置 ・「子どもを守る家」事業 年間を通じ不審者対策として協力者宅に設置 ・青少年ボランティア人材育成事業 ジュニアリーダーの養成 ・なばり子どもセンター事業 子どもの体験活動情報を年間を通じ提供		
直接事業費	482千円	615千円	700千円	700千円	700千円
財源内訳(千円)			現在の実施手法(複数選択可)		
国庫支出金			市が直接実施		
県支出金			業務委託(全部・一部)により実施		
地方債			指定管理		
その他()			補助金・交付金		
一般財源	(0) 482	615	その他 ()		
職員	0.65人	0.10人	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	平成27年度(計画)
臨時職員等	0.17人	0.42人	同左	同左	同左
概算人件費	(0千円) 5,034千円	1,444千円	1,444千円	1,444千円	1,444千円
+ 総事業費	(0千円) 5,516千円	2,059千円	2,144千円	2,144千円	2,144千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	青少年ボランティア数	-	-	-	-	50
	実績		47	55	57	57	
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
協働の相手方となる名張市青少年育成市民会議との役割分担が明確化し、市民活動が実質的に動き出しています。	市民との協働を継続的・発展的に推進できるよう、活動者の育成に取組みます。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
学校と地域の連携の必要性がますます大きくなっています。	地域づくり組織への情報提供を適切に行うこと。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できる	地域における、防犯パトロール等との連携を図る
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	地域や学校との連携事業が考えられます。
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に係る地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある	13の地域の地域ビジョンにおいて、安全安心のまちづくり等のテーマで、防犯パトロールや、子どもを守る家事業、がうたわれています。
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映済み	「子どもを守る家」事業は、昨年度も比奈知・つつじ・桔梗が丘の地域づくり組織と連携を図り、実施しました。
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)

継続(拡大)

「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項